

2023年4月21日

各位

会社名 太洋基礎工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 加藤 行正  
(東証スタンダードコード1758)  
問合せ先 執行役員管理本部長 庄田 政義  
(TEL 052-362-6351)

## 上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2023年1月31日時点において、東証スタンダード市場における上場維持基準を満たさない状況となりましたことから、下記のとおり「上場維持基準の適合に向けた計画書」を作成しましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2023年1月31日時点における東証スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、株主数については基準に適合しておりません。当社は、下表のとおり、株主数について2026年1月末までに上場維持基準を満たすために、各種取組を進めて参ります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	356人	2,634単位	1,384百万円	32.1%
上場維持基準	400人	2,000単位	1,000百万円	25.0%
計画書に記載の事項	○	—	—	—
計画期間	2026年1月末	—	—	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が2023年1月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

#### (1) 基本方針

当社は、東証スタンダード市場における上場維持基準の適合に向けて、「株式の流動性の向上」、「企業価値の向上」及び「株主価値の向上」を基本方針とします。

#### (2) 課題

当社は、株主数が上場維持基準を満たしておりません。2023年1月31日時点における当社株式の投資単位の金額が50万円以上と高く流動性が低いこと、また、当社の企業としての情報発信不足が主な要因となっていると考えております。

投資単位の金額の引き下げ等により株式の流動性を向上させることや、当社の事業を個人投資家や市場関係者の方にさらにわかりやすく発信することにより、適正な評価を得られると考えております。

### (3) 取組内容

当社は、下記の取組みにより東証スタンダード市場における上場維持基準の適合を目指して参ります。

#### ● 投資単位の金額の引き下げ

当社は投資家層の拡大や流動性の向上を図るため、投資単位の金額の引き下げに係る施策を行うことが重要であると認識しております。具体的な施策としましては、発行済株式数に対して13.9%保有している自己株式の活用や、株式分割を行うことが挙げられますが、既存株主や市場への影響、今後の資本政策等を総合的に考慮する必要があり実施対応までに至っておりません。今後の流通株式の状況と安定株主の構成状況を考え、施策を検討して参ります。

#### ● I R活動の強化

当社は、会社ホームページや決算説明会、たいよう新聞などの社報等により I R活動の継続的な情報発信を行っておりますが、直近の業績を鑑みても P B R (株価純資産倍率)が低く、企業としての認知度が低いと考えられ、情報の発信が不足していると判断しております。

このため、更に I R活動に力を入れるべく、I Rフェスへの参加など外部への情報発信できる場を増やします。また、建築や特殊土木工事の専門である当社の企業活動を個人投資家や市場関係者の方にも、よりわかりやすく理解していただけるように開示資料の充実を図ります。

以 上